

## 早稲田大学派遣留学生交友会

*Students and Alumni of the Waseda Study Abroad Programs*

へのお誘い

(SAWSAPは、早稲田大学の留学制度を利用する・利用した人たちの交流の場です。)

### ～沿革と目的～

SAWSAPの前身は、1988年に設立された「早稲田大学国際部派遣留学生同窓会」です。当時、早稲田大学では、国際部から北米各地に留学生を派遣していましたが、国際部発足25周年を期して、それまでの留学経験者を集めて記念イベントを開催しました。このとき、出席者の間ではこうした集まりを継続的にもちたいという声が集まり、国際部の後押しもあって「同窓会」が誕生しました。

当初、国際部のプログラムで留学する学生は毎年40名前後で、帰国後は自動的に同窓会員として扱われていました。しかし、90年代後半に大学の留学制度が大幅に拡大したため、国際部が国際教育センターに統合されたのを期に任意加入組織へと改組し、名称も「早稲田大学派遣留学生交友会(SAWSAP)」に変わりました。会員資格者の留学先も、北米から世界各地に拡大しました。

この会は、基本は同窓会であっても、次の点で普通の同窓会とは異なります。第一に、必ずしも同じ学部や授業で一緒に学んだ仲間の組織ではないこと。そして第二に、卒業生だけでなく現役の学生も会員になれることです。SAWSAPは、会員相互の親睦を図ることはもちろん、会員の学習・仕事上の、および私的なニーズを充たすための情報交換ネットワークとして機能することも期待されています。同時に、早稲田大学の国際的な教育交流活動にさまざまな形で貢献していきたいとも考えています。

インターネットの発達により、世界各地に散らばる会員間のコミュニケーションはかなり容易になっています。情報の交換を活発にして、留学中の問題解決、仕事やキャリア形成上必要な情報の入手など、会員がいろいろな形で有益に利用できる会を育てていきたい、というのが私たちの願いです。

### ～活動内容～

SAWSAPは、早稲田大学の過去、現在、将来の派遣留学生の間の交流、相互利益を促進するために、さまざまな活動を行っています。

毎年、「リユニオン」と呼んでいるパーティーを開いて、会員の親睦をはかっています。リユニオンでは、帰国学生に報告をしてもらったり、海外の大学から早稲田にいらしている先生のお話をうかがったりしています。企業人や就職希望者に役立つシンポジウムを開催したり、海外から早稲田に来る留学生の歓迎会を開いたこともあります。これからも、会員よりアイデアを募って実りある集いを計画したいと思っています。

こうしたイベントの開催と並行して、ニューズレターを発行し、会からの連絡および会員同士の情報交換に役立っています。さらに、定期的に会員名簿を作成していますので、親睦、情報交換、人的ネットワーク構築、就職活動など、種々の目的のための相互連絡が容易になっています。

早稲田大学の留学制度は、歴史の長さ、内容の充実度ともに、日本の大学の留学制度の中でも高く評価されています。この制度の卒業生・現役学生である私たちは、留学経験から生まれる専門知識、文化的適応力、コミュニケーションのスキルなどの集積を大いに活かして、意義のある活動を続けていこうと思っています。

### ～会員のプロフィール～

早稲田大学から留学した2000名近くの学生、OB・OGの中から、幅広い年齢層の方々が会員登録しています。教員、研究者、国内・国際公務員、ジャーナリスト、主婦、政治家、税理士、ビジネスマン、弁護士、翻訳・通訳など、国内外で活躍するさまざまな職業の方が参加しています。

### ～入会の資格と手続き～

早稲田大学の留学制度を利用して留学した方(卒業生を含む)、留学中および留学が決定した学生なら、どなたでも入会できます。以下の口座まで終身会費1万円(早稲田大学卒業から2年以上が経過した方は3万円)をお払い込み下されば、ニューズレターの送付、リユニオンの案内、名簿の頒布等のサービスが受けられます。

郵便振込口座 00110-9-52770 (加入者名:早大国際部同窓会)

入会についての詳しい情報、またSAWSAPに関するご質問等は松坂ヒロシ(教育総合学術院 松坂研究室 14号館-945号)までお気軽にお問い合わせ下さい。